

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」（宮城県）の変更点について

- 第1 農業経営基盤強化の促進に関する基本的な方向
  - 1 本県の農業の現状と課題
    - ・東日本大震災による津波被災地区の動向に係る文言を追加。
  - 2 本県農業の経営基盤の強化の促進に関する方策
    - ・法人形態への誘導を推進していく旨の文言を追加
- 第2 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標
  - ・営農類型、経営規模の見直し
  - ・農業所得欄の削除
  - ・(参考) 農業所得計算の前提条件の削除
- 第3 効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関する目標等
  - ・目標年次 平成26年度末 → 平成32年度末
  - ・効率的かつ安定的な農業経営を営む者の経営体数の指標の変更
  - ・農地面積及び経営体への集積面積の指標の変更

変更前	変更後
○経営体目標数 <u>7,400</u> (個別経営体 7,100+組織経営体 300)	○経営体目標数 <u>6,900</u> (個別経営体 6,400+組織経営体 500)
○目標年次 <u>H26年度</u>	○目標年次 <u>H32年度</u>
現況値 (H22.3末) : 6,259	○設定について 法人経営等の組織経営体の目標数を拡大し、県全体の産出額を維持・拡大を図る。
○利用集積目標 72% (田 77%, 畑 47%)	○利用集積目標 72% (田 77%, 畑 47%)
○目標年次 <u>H26年度</u>	○目標年次 <u>H32年度</u>
現況値 (H22.3末) : 59.8%	○設定について 担い手の育成・確保には、経営体により一層の農地の集積を図る必要性があることから、目標を維持。
基本方針で設定している「効率的かつ安定的な農業経営」の目標所得と労働時間の設定	基本方針で設定している「効率的かつ安定的な農業経営」の目標所得と労働時間の設定
○目標所得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる従事者 1人当たり <u>480万円</u></li> <li>・1個別経営体当たり <u>600万円～720万円</u>                              (主たる従事者 1人+補助従事者 1～2人)</li> </ul>	○目標所得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる従事者 1人当たり <u>480万円</u></li> <li>・1個別経営体当たり <u>600万円～720万円</u>                              (主たる従事者 1人+補助従事者 1～2人)</li> </ul>
○労働時間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる従事者 1人当たり <u>1,800～2,000時間</u></li> </ul>	○労働時間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる従事者 1人当たり <u>1,800～2,000時間</u></li> </ul>